

2 避難時の心得

大雨時 水の中の移動なども危険です。はん濫した水中を歩かなくてもよい早目の避難を心がけてください。やむを得ない場合、次の点に注意して安全に避難してください。

心得 ① 歩ける深さ
水深は深くても流れがあると危険です。危険と判断した場合は無理せず、高所で救援を待ちましょう。

心得 ② 足下に注意
水面下にはどんな危険が潜んでいるのかわかりません。長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら歩きましょう。

心得 ③ はき物
裸足・長靴は建物です。むで離れられる運動靴にしましょう。

心得 ④ ロープをつなごう
はくれぬようにお互いの体をロープで結び、一列になつて避難しましょう。

特に高齢者や子どもら目を離さないようにしてください。

地震時

緊急地震速報を見たら、地震の揺れを感じたら、次の点に注意して安全に避難してください。

心得 ① 家族では
●頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する。
●あわてて外へ飛び出さない。
●むりに災を素直にしない。

心得 ② 自動車を運転中は
●急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度ををわす。
●ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす。

心得 ③ 鉄道・バスでは
心得 ④ 屋外(街)では
心得 ⑤ エレベーターでは

●つり革、手すりしっかりとつかまる。
●ブロック塀の崩壊に注意。看板や割れたガラスの落下に注意。
●最寄り階の階に停止せず、すぐにおりる。

3 平常時の心得

市民のみなさんの大切な命や財産を守るためには、行政による「公助」だけでなく、みなさんの「自助」、「共助」により地域の防災力を高めおくことが重要です。

自助 自分の身は自分で守る

●家族会議
家族の役割分担、避難所の確認、家族間の連絡方法などを確認しましょう。

●わが家の安全点検
家屋の耐震化、家具の固定、ガラスの飛散防止などを自身空間の安全確保をしましょう。

●備蓄品・持ち出し品のチェック
避難時に持ち出す非常時持ち出し品、救護活動が受けられるまでの備蓄品を家族構成に合わせて用意しておきましょう。

共助 自分のたちのまちは自分たちで守る

●自主防災組織
防災訓練などに積極的に参加し、地域のみなさんが互いに連携・協力できる体制を強化しましょう。

●防災まち歩き
地域の中の危険な場所を知り、地図に書き込むとともに、地域住民に周知し、地域の防災力を強化しましょう。

●災害時要援護者に心がけを
高齢者や妊婦、体の不自由な人など災害時に支援が必要な人がどこにいるのかを把握し、地域ぐるみで助け合います。

4 非常時持ち出し品

災害に備えて非常時持ち出し品を準備しましょう。確認したらを入れてください。

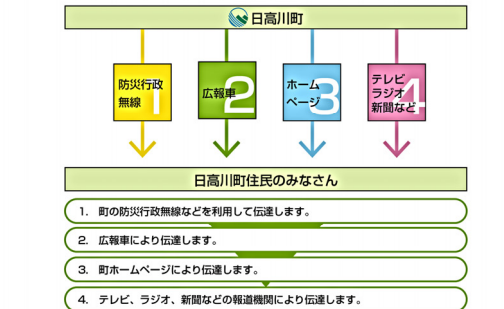
避難用品	情報機器	貴重品
ヘルメット 懐中電灯 雨かぶ 軍手 笛 など	携帯電話 充電器 など	現金 健康保険証 印鑑 家族の写真 など
救急セット	非常食	生活用品
絆創膏 ばんそうこう 包帯 はさみ など	水 乾飯 缶詰 など	炊飯器 タオル 乾布巾 タイプ 予備電池 など

このリストの他にも、ご家族に乳幼児、妊婦、要介護者がいる場合、おむつ、母子手帳や常備薬(薬を特別服用している方は処方せんのコピーも忘れなく)などが必要で、ご家族で話し合って、必要なものを準備しましょう。

5 避難に関する情報

●避難指示などの伝達方法

避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます

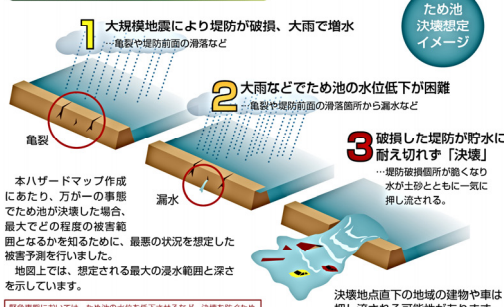


●避難の情報

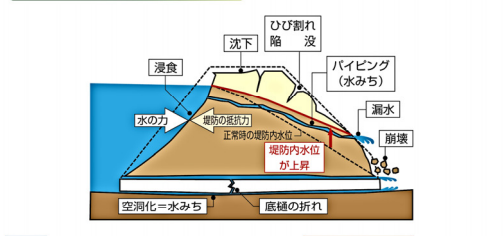
区分	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報	●災害時要援護者など、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなればならない段階であり、災害の発生する可能性が高まった状況。	●災害時要援護者など、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難所への避難行動開始(避難支援者は支援行動を開始)。 ●上記以外の者は、避難準備開始。
避難勧告	●通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、災害の発生する可能性明らかに高まった状況。	●通常の避難行動ができる者は、計画された避難所への避難行動開始。
避難指示	●前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、災害が発生する危険性が非常に高いと判断された状況。 ●標高の標線など、地域の特性などから人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。 ●災害が発生した状況。	●避難勧告などの発令後で避難中の住民は、直ちに避難行動を完了。 ●未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、その場合十分な備蓄品を保持し、安全な避難所へ避難行動に移る。

8 もしも、ため池の堤防が壊れたら

●はん濫シミュレーションについて



●こんなとき、ため池が危ない!!

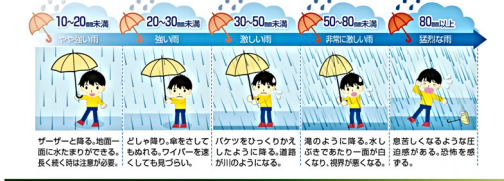


6 大雨・洪水に関する情報

●気象情報について

分類	用語	説明	基準(1時間雨量)
大雨洪水	特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは数十年に一度の強度の台風や同程度の低気圧により大雨になると予想される場合	
	警報	大雨による重大な災害が発生すると予想された場合 大雨などにより河川の洪水やはん濫などによる重大な災害が予想された場合	100mm
	注意報	大雨による災害が発生すると予想された場合 大雨などにより河川の洪水やはん濫などによる災害が予想された場合	70mm

●1時間の総雨量と雨の強さ



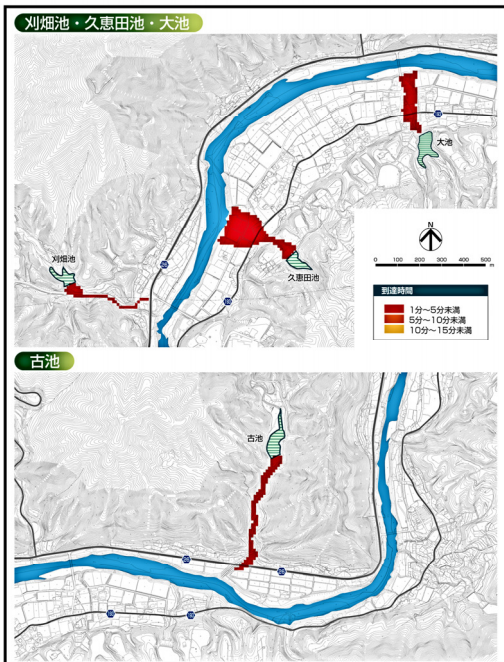
7 地震に関する情報

●震度階級表

震度4 ●ほとんどの人が驚く、歩いていたらめどむらぶき、器を壊し崩れていくものがあるなど、目撃者あり。 ●固定されたものが揺れ出すなど、あるものに固有の共振現象が顕著にみられる可能性がある。	震度6弱 ●震度5以上の揺れが長時間にわたって見られるなど、壊れるものがある。ドアが開け閉まりづらく、倒れるものがある。 ●固定されたものが大きく揺れ、壊れるものがある。
震度5弱 ●木造の家が、揺れを感じる、物がたかたかた動くなど、目撃者あり。 ●固定されたものが大きく揺れ、壊れるものがある。	震度6強 ●震度5以上の揺れが長時間にわたって見られるなど、壊れるものがある。 ●固定されたものが大きく揺れ、壊れるものがある。
震度5強 ●木造の家の人が、つらつき、歩いたらめどむらぶき、器を壊し崩れていくものがあるなど、目撃者あり。 ●固定されたものが大きく揺れ、壊れるものがある。	震度7 ●震度6以上の揺れが長時間にわたって見られるなど、壊れるものがある。 ●固定されたものが大きく揺れ、壊れるものがある。

9 はん濫水の到達時間

はん濫シミュレーション結果におけるはん濫水の到達時間を表現しました。特に避難が必要な地区にお住まいの方は、ため池が決壊する前に早めの避難を行う必要があります。



三日瀬小学校区 刈畑池・久恵田池・古池・大池 ハザードマップ



ため池ハザードマップとは?

ため池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するものです。
また、住民のみなさんがマップを通して、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上に取り組めることを目的としています。

●緊急時の連絡先

日高川町役場	0738-22-1700	[上下水道] 日高川上下水道課	0738-22-1700
日高広域消防本部	0738-63-1119	NTT	113
郡街警察署	0738-23-0110	NTT (携帯電話からの連絡先)	0120-444-113

●最新の情報ははこちらから

日高川町ホームページ	http://www.town.hidakagawa.lg.jp/
防災わかやま	http://www.pref.wakayama.lg.jp/bousai/index.html
気象庁 和歌山地方気象台	http://www.jma-net.gov/wakayama/

【目次】

- 1 わが家の避難所・避難経路
- 2 避難時の心得
- 3 平常時の心得
- 4 非常時持ち出し品
- 5 避難に関する情報
- 6 大雨・洪水に関する情報
- 7 地震に関する情報
- 8 もしも、ため池の堤防が壊れたら
- 9 はん濫水の到達時間

1 わが家の避難所・避難経路

●わが家の防災メモ

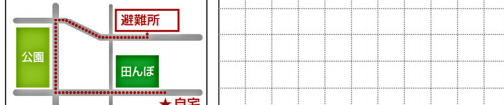
家族の名前	生年月日	血液型	既往症	携帯番号 / 会社・学校の連絡先

MEMO

●わが家の避難経路

ハザードマップを持って、家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探し、あなたの経路図を右の地図に書き込んでみましょう。

【書き込み例】



▶▶ 災害用伝言ダイヤル 「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてみてください。
災害用伝言ダイヤルは、「声の伝言機」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域のみなさんとの間で、伝言の録音・再生をすることができます。